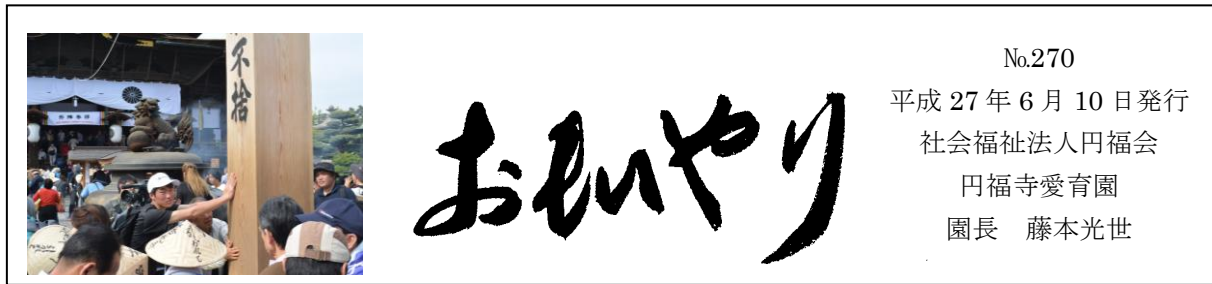


「牛に引かれて善光寺参り」に因んだ、上山田温泉から善光寺までのウォーキングに参加しました。



No.270  
平成 27 年 6 月 10 日発行  
社会福祉法人円福会  
円福寺愛育園  
園長 藤本光世

### 世の先導を歩く

園長 藤本光世

5月6日に開催された、上山田温泉から善光寺まで約30kmを歩く「善光寺ウォーキング」に、当園の中高生全員と副園長以下の職員が参加しました。当園の近くの土手を通るので、小学生や幼児さんが応援に出ました。私も行ってみると、上中堰の水門のところが休憩所となっていて、そこに大勢休んでいました。みんな元気で、楽勝といった感じでした。私は「篠ノ井あいさつ運動」の緑ののぼり旗を用意していました。土手で子どもにそれを渡して、持って歩いてもらいました。気持ちよく歩いている様子でした。

翌朝愛育園に行くと、びっこを引いた職員や子どもがいました。八幡原の古戦場跡から一般道に入ってからが大変だったようです。

21日の朝に一緒に歩かれた方が愛育園にプレゼントを持って来られました。お名前も言わず、私も会うことが出来ず、あっという間に帰って行ってしまいました。飾りひもで綺麗に結んだ包みの中に2個の新品のボールとたくさんのぬり絵のプレゼントと、お手紙が入っていました。一読して、とても感動しました。ありがたく嬉しいお手紙でした。

そのお手紙から、私たちの仕事が世の先導を歩き、無意識のうちにも、人を励まし支えていることを教えていただきました。私たちの仕事は、そのような仕事でした。ありがとうございます。世



牛に引かれて  
ぜんこうじまわり  
おうえんにきてくれて  
ありがとうございました  
またらいかん  
たのしみしています

の中の人、子ども達の姿を見て分かってくださるのです。大きく励まされました。

世の先導を歩くとは、どういうことでしょうか。冬の登山で雪道を歩くことを例にしましょう。先頭を歩く人は、深い雪をラッセルして進まなければなりません。抵抗があります。とても大変です。ところが、次に続く人は楽に歩けるのです。何人でも楽に歩けます。先頭は、しっかりした心を持ち、使命感があり、体力が無ければできません。世を先導するとは、そんなにも大変です。

私たちの仕事も同じです。でも、それは人を励まし、支えることに通じるのです。

そして、次に続く人たちを増やすことができます。その事実が、ウォーキングの形で表れたのです。だから、とてもうれしかったのです。

2枚のお手紙は子ども達に紹介し、談話室に貼りました。毎朝、毎夕のお参りの声が手紙に届くでしょう。

### 善光寺ウォーキング

副園長 青谷 幸治

子どもたちに自分の限界を作らず、何でもチャレンジさせたいという思いから今回、「牛に引かれて善光寺詣り」という30kmウォーキングの企画に中高生、職員と参加しました。正直、30kmなど歩いた経験もなく未知の世界ではありましたが、子どもたちには限界を作らず目標をもって取り組み達成感を味合おうなんてことを簡単に口にしていましたが、開催日が近付くにつれて私たち職員自身が体力のなさに心配になり、不安になっていたのは事実でした。しかし中高生はやり気満々で誰一人として弱音を吐きませんでした。本番当日。スタートまで、ぐずぐず言っている格好悪い



自分がいましたが、いざ出発すると爽やかな風と自然のおおいを身体いっぱいを感じながら歩くことができました。普段の業務から離れ自然と触れ合いながら、また中高生と語り合いながら30kmを約6時間で完歩することができました。300人の先導を愛育園の中高生が担いたくましく歩く姿がありました。参加した中高生、職員全員が完歩できたことと中高生と同じ時間、同じ気持ちを共有できたことはとても良く、子どもたちの達成感が顔いっぱいに溢れていました。7年に一度の善光寺の御開帳とも重なり、皆で回向柱を触り、お参りしてきました。また来年も限界を作らず大きなことにチャレンジし、子どもたちが心も身体も成長できる取り組みを考えていきたいと思ひます。

### 牛に引かれて善光寺参り30kmウォーキングに参加して

保育士 上原美恵子

五月晴れのさわやかな5月6日、初めての30kmウォーキングに参加しました。日頃から歩くことは好きでしたので、好奇心と勢いで参加を決めましたが、開催日が近づくにつれて正直ゴールできるか不安になっていました。けれども当日集合場所に集まった子供達の活気に溢れる表情を見て私にも勇気が湧いてきました。

ウォーキングのコースは千曲川沿いののどかな土手道で新緑と川のせせらぎが美しく、天候にも恵まれて歩くには最適でした。時間が経つにつれて少しずつしんどさが出てきた頃一回目の休憩になりました。少々疲れが見えていた子供達も水分補給をしたりしてすぐに元気を取り戻しました。再び歩き始めましたが、歩き慣れている方が多かったせいかペースが速く遅れないように必死でした。その内徐々に見慣れた景色が目の前に広がってきました。いつも遊んでいる園の近くの土手が休憩場所になっていました。そこで園の子供達が応援のメッセージを掲げて声援を送ってくれていました。思いがけない出来事に元気を貰い又ゴールを目指す力が出ました。ようやく昼食休憩場所になっている川中島古戦場にたどり着きました。ここが約中間地点と聞いてため息が出ましたが、配布されたおにぎりやパンをほおぼりながら皆でここまでの労をねぎらったり、目的地に向けてそれぞれ決意を新たにしました。後半は市街地に入りそれまでとは一変した景色の街中をとにかく歯をくいしばって必死にひたすら歩きました。子供達も徐々に口数が減りそれぞれが自分自身と闘っているように見えました。ようやく中央通りに入り高台に善光寺の建物が見えてきました。視界に目的地が見えてきたことで疲れきっていた子供達の表情も心なしか明るく見えました。こんな思いで善光寺の参道を歩いたのは初めてだなーと感じながら何とか全員で目的地に着くことができました。私自身一人だったら絶対にここまで来れなかったなーとしみじみ思いました。苦しさからくじけそうに



なる自分の弱さと戦って、最後まで頑張れたこの経験は子供達にとっても一生の思い出になったと思います。全員無事で有意義な時間が過ごせて本当に感謝、感謝の一日でした。

### GW行事

まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織

今年度もゴールデンウィークに子ども達と東飯網高原へ行ってきました。少し天気は怪しかったものの、子ども達もとても楽しみにしており、その思いが伝わったのか、雨も降ることもなく最後まで楽しんでくることが出来ました。

前日から男の子はブルーシートやBBQセットを準備したり、女の子は食材の買い物等それぞれ役割を決め、準備を行いました。みんなとても積極的に準備を手伝ってくれたおかげであっという間に準備は完了！！当日も荷物を素早く軽トラックに乗せ出発です！東飯網高原に着いてからは、おいしくお肉を食べる為に、原っぱへ行きしっぽ取り大会です。みんな一生懸命に走り回り、多い子どもは3本以上もしっぽを取ることができ大喜びでした。楽しいゲームを行った後はみんなお楽しみのBBQです。火起こしも子どもたちが積極的に行ってくれ、あっという間に火も付き、お肉を焼いたり、野菜を焼いたり・・・お腹いっぱい食べることが出来ました。最後は全員でスーパースライダーに乗りました。頂上に着くと、とても景色も良く遠くまで見渡すことが出来ました。

帰りの車では疲れて寝ちゃうかな・・・？と思っていましたが小学生はとても元気でたくさん話をしながら帰って来ることが出来ました。園についてからはみんなで一齐に片づけを行う事が出来ました。とっても楽しい1日を過ごすことが出来ました。





## 御開帳篠ノ井大獅子奉納

あおぞらホーム長 富沢正樹

5月17日、小学生と幼児さんと、善光寺へ大獅子をご奉納する行事に参加してまいりました。数週間前に、この事を小学生に伝えると、とても喜んで「回向柱触れる?」「電車乗れる?」など、それぞれにワクワクしていました。ただ、私自身は、どんな催しであるかわからないし、当日は2300人も人が参加するとあって、大変な混雑が予想されたため、迷子になったりしないか、不安な気持ちでいました。

当日の予定はというと、幼児さんは車で現地に向かい、小学生は園から篠ノ井駅まで歩いて行って、電車に乗って長野駅から「もんぜんぷらざ」まで移動し昼食を済ませ、その後、スタート地点である末広町交差点から善光寺の大門まで行列を成して歩いていくというものでした。

1年生から6年生まで総勢15人に引率の職員がついての参加でしたが、当日はとても天気良く暑い一日で、そんな中、長い時間、長い距離を歩きましたが、みんな元気よくイキイキとして、さらにマナー良く参加する事ができ素晴らしい行事になりました。

篠ノ井駅発の臨時電車が10時30分だった為、園を出発したのは9時30分でした。皆、法被を着て、豆絞り手ぬぐいを頭につけ、一列になって一生懸命歩きます。篠ノ井地区で取り組んでいる「あいさつ運動」ののぼり旗を持って、すれ違う人たち全員で大きな声で「こんにちは」と声をかけて歩きました。4年生のH君は、道路を挟んで遠くに立っていたお巡りさんにも元気よく挨拶して、お巡りさんに敬礼で返されるととても喜んでいました。

篠ノ井駅に着くと、すでに大勢の参加者が集まっています、みんな「すごーい」とか「電車乗りきるのかな」とか、ここでも、もうワクワクしている様子でした。私は想像していたより人が沢山いて、やはり迷子にならないか心配でしたが、園長先生が皆に「富沢先生が持っている「あいさつ運動」の旗に集まってね。」と声をかけてくれた事で、その後、行事が終わるまで、迷子の心配はなくなりました。

早目に改札を通り、駅のホームは更に混雑していましたが、なんとか電車に乗り込みました。電車に乗る事を楽しみにしていた子は多く、電車が出発すると、「次は何駅?」「新幹線見える?」と楽しそうな顔で口数が多くなっていました。



長野駅に着くと、そこからまた歩いて、昼食会場に向かいます。ここでも、道行く人々に大きな声で挨拶をする子ども達。ともすれば街中で「恥ずかしい」という気持ちがあってもおかしくないかなとも思うのですが、みんな、本当に気持ちの良い挨拶ができます。

昼食を済ませ、スタート地点に移動します。昼食の時に幼児さん達が持ってきてくれた「あいさつ運動」ののぼり旗を更に18本を組み立て、出陣を待ちます。13:00スタート予定でしたが、人数の多さが原因でしょうか、中々出発になりません。園を出てから、4時間が経過し、並んで待っているだけの状況に、ぐずり始めてもおかしくないかなと思いましたが、わがまを言うこともなく、左手に「あいさつ運動」の旗、右手に紅白綱をしっかりと持ち、待っている事ができました。

## 御開帳篠ノ井大獅子奉納

まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織

今回7年に1回というとても貴重な行事に子ども達と、職員で参加させていただきました。ハッピーをみんなで来て篠ノ井駅まで歩き、そこから電車に乗り長野へ向かいました。電車に乗れた事にも子どもたちはとても喜んでいました。

昼食も食べ、歩く準備は万端です。中央通りから善光寺まで約2キロありま

した。その2キロを2時間かけて歩きます。この日はとても天気も良く、少し暑いくらいでしたが、子ども達は一生懸命綱を引いて歩きました。途中から幼児さんも一緒に参加し最後まで小学生と一緒に歩ききる事が出来ました!!大きな獅子を見て少し怖がる子どももいましたが、一緒に写真を撮ったり、善光寺へ行きお参りをしておいしいアイスクリームを食べたり・・・とっても楽しい行事になりました。

## 花御堂作り・お花まつりをおこないました!

あおぞらホーム 山口 亮

毎年この時期に地区の小学生が円福寺に集まって行われているお花まつり。地区の子どもも愛育園の子どももお釈迦様がお生まれになった場所がお花畑という言い伝えに基づいてまずはお花で飾られた御堂作りから始めました。毎年行っているという事もあり、どの子も手順が分かっているみたいで進めていきます。30分もすると綺麗なお花で彩られた御堂の完成です。その後は、お寺に入って全員でお参りです。愛育園の子は経本を持たなくても毎日朝晩としっかりお参りをしているのでお経もしっかり読むことができました。その後は、園長先生からお釈迦様がお生まれになった話を聞いて、実際に甘茶をいただきました。小学校一年生は甘茶はあんまり体験した事がなかった







ので味に驚いていました。最後までしっかりお片付けをしてお花まつりを終える事ができました。

#### 創立記念日 保育士 近藤 典雄

5月5日は円福寺愛育園の創立記念日。昭和23年5月5日に初代園長先生の藤本幸邦老師が創立して67年の年月がたちました。

愛育園でもこの日はいつもの日課を少し早めて、子供たち全員でお参りに行きました。お寺に着いてからいつものように並び、摩訶般若波羅蜜多心経を

唱えまい。お経を唱えている際、園長先生に続いて職員の先生、児童を代表して数人の子が順番に本尊様にご焼香しました。その後いつものようにおまいりを終えて、園長先生からお話をいただいて、園に戻りました。園に戻ると調理の先生方が創立記念のための祝膳を用意してもらいおいしくいただきました。

67年という長い年月がたち、愛育園やたくさんの人たちに感謝して、初代園長先生の思いや、現在の園長先生の意思をもとに子供たちともども成長



していきたいです。

#### 東中との懇談会 保育士 武井 萌

先日、篠ノ井東中との懇談会が、行なわれました。今年度は新1年生も加わり5名が東中へ通っています。どの児童もとてもよく頑張っている、一生懸命やっていると学校の先生方より褒めの言葉をいただきました。ある女の子は放課後残って分からないところを先生に教えてもらったり、ある男の子は授業中積極的に挙手をしたり、また部活動をしている子はとても真面目に取り組んでいたり、と話を聞いていると、普段の園の生活では見られないような姿もあるようで、私達が見えないところで頑張っていることもあるんだなあと感心しました。なかなか学校と園の生活との両立は忙しく、大変と思うかもしれませんが、自分の将来に向けて動いていく大事な時期でもあるので、自分のために頑張ってもらいたいと思います。また、今年度は受験生が現在2名いますので、職員も一緒に受験に向け取り組んでいきたいと思っています。

#### あおぞらうどん 保育士 富沢 正樹

4月25日、今年度1回目のあおぞらホーム食は「手打ちうどん」でした。子供も職員もそれぞれ

コシの入った1年になるようにとひっかけ、決めたこのメニュー。非常に完成度の高いうどんに仕上がりました。というのも、調理の先生の中に、そば打ち名人の先生がいらっしゃって、鉢や包丁など、専用の本格的な道具を持参してくださったり、実演しながら教えて下さったりして、うどんとそばの違いはあれど、その見事な手際に、子ども達は尊敬の眼差しを向けていました。

また、子ども達も昨年度からの引き続きで、料理をすることへの関心が強まっていて、率先して料理をします。特に、昨年も好評だった黒ゴマときゅうりのめんつゆを作ったのですが、すり鉢で黒ゴマをすり潰して、味見をしながら水やめんつゆを足していく姿は職人のような雰囲気さえありました。他にも、カルボナーラつゆを作ったり、坦々風ピリ辛つゆを作ったり、変わったうどんつゆで、おいしく頂きました。

料理の大好きなあおぞらホームの子ども達、今年もたくさんの料理をしていきたいです。

#### まごころホーム遠足 in 茶臼山動物園 保育士 武井 萌

新年度が始まり新しいメンバーとなったまごころホームで、第1回目のホーム食は遠足に行こう！となり、4月25日、茶臼山動物園へ遠足に行きました。朝からみんなで自分達のおにぎりを握り、リュックも準備して、いざ出発！！調理の先生方にも協力していただき美味しいおかずも用意してもらい、近くの公園で暖かい太陽を浴びながら美味しくいただきました。自分達で握ったおにぎりは形がさまざま個性が出ており、「これボクが握ったやつ！」と嬉しそうに食べている幼児さんの姿もありました。お腹がいっぱいになるとみんなが1番楽しみにしていた茶臼山動物園へと向かいました。自分達よりも大きなキリンやゾウ、抱っこが出来るほど小さなモルモットなど、沢山の動物達と触れ合うことが出来ました。園には犬のタローちゃんがいますが、普段なかなか見ることのできない動物達に終始目を輝かせている子ども達でした。



#### 野菜作り 園務 青木 稔七

野菜作りは同じことの繰り返しです。天候、そして手をかけてやらなければ良い物はできません。じゃがいもの種まき、野菜の苗を植え、毎日のように水やり頑張っています。暑い日が続いているのに、5月28日はきゅうりが3本取れました。みずみずしくて美味しそうです。「先生取れたよ！」子ども達の声を聞き嬉しくなりました。

草取り、土作り、多くの仕事がありますが、みんなで力を合わせ、たくさん収穫が出来るよう頑張りたいと思います。





# 園内保育だよ!

戸外では走り回り、泥んこになって遊ぶのが  
 楽しみ。室内では歌声が響かせる...  
 今月も元気いっぱい園内保育の子ども  
 たちだよ ☆



## 6月のわらい

- ・ 生き物や植物、天候などの自然に興味をもつ。
- ・ 活動や遊びに意欲的に取り組む。

## 6月の行事

- ・ 避難訓練
- ・ プール開き



## 遠足に行きました (^o^)/

5/22(金)、遠足に行きました。天候に恵まれ、楽しい1日でした。心  
 朝からワクワクと期待していた子どもたち。調理の先生に作っていただいた「食育カリュウ」に入れ、  
 園長先生はじめ、多くの先生方に見守られ、さあ、出発だよ!  
 篠井駅では、駅員さん:「長野行きの電車は、何番線ですか?」と聞いた。バスでは、「可愛いねえ、  
 遠足だよ?」と、乗り合わせたお客様に声をかけていた。さまたは方とのふれあいやあります。  
 目的地の善光寺は、御開帳中、大混雑中ということもあり、7人さんの参拝客にぎわっています。  
 幼児さんは、少し前にも善光寺を訪れたように、善光寺さんが見ると、「あ!、この前、来たよ、たまたま、  
 いう声も上がります。今回は、メインの回向柱にさわったり、おまいりをしたり、閻魔様をこわごわ  
 見たりと前とは違う経験ができたよ!でした。  
 善光寺さん下後には、木陰が涼しい公園でお昼をいそいで、長野駅やステーションビルを見学  
 しました。新幹線の模型を大喜びで見入っていた子どもたちと、帰りの電車の中で、何が一番  
 楽しかったか尋ねると、年上のRカル:「電車!新幹線!」と答えました。やはり、男の子はね。心  
 そうそう、善光寺のおまいり。おにぎりさん(おにぎり)に、「おにぎりさん(おにぎり)に、お願いをした。年長のKカルは、愛育園に  
 帰ると、「Kカル、おにぎりさん(おにぎり)に、おにぎり、と言っています。たまたま、ほまほまいだよ!ね ☆

おたんじょうびおめでとう

5月14日、この日は5月生まれのお友だちのおたんじょうび会が行なわれました。  
 主役は...年中さんのSくん!! さて、今回のおたんじょうび会は、保育者による  
 「金の斧 銀の斧」の劇と、おやつ作りをしました。劇は、「嘘やごまかしをせず  
 素直で正直な人になってほしいな」という思いを込めました。  
 みんなの心に届いたかな。お楽しみのおやつ作りでは、  
 コーンフレーワとチョコを混ぜ合わせてとっても美味しいおやつ  
 を作りました。スプーンで一生懸命混ぜ楽しみながら  
 作ることができました。主役のSくん、5月で5才のお兄さん  
 になりました。大きくなったら「赤ニンジャー」になりたいそう  
 です。いつも元気いっぱいのSくん。お友だちと仲よく遊  
 んで、心の優しい男の子になってね!!  
 楽しい劇と、美味しいおやつでみんなの  
 ニコニコ笑顔がたっぷり見られた  
 おたんじょうび会となりました ☆



先月号でお知らせした「このぼり」です!  
 大きいこのぼりは、折り紙や広告をウロコ  
 の形に切り、何枚も重ねて、みんなが力を  
 合わせて作り上げた作品です。小さいこ  
 のぼりは「卵パック」を使った個人制作  
 です。気持ち良さそうに泳いでいます!

\*\*\* 苗植えをしたよ! ...  
 ( 4月の「じゃがいも」植えに続き、GW明けには )  
 「トマト」「ピーマン」「なす」「きゅうり」の苗を植えました。  
 シュベルで穴を掘り、苗が折れてしまわない  
 ように、保育者と一緒にそっと土の中に入れました。  
 「お世話を頑張る!!」と張り切る子どもたち。先日、  
 自分たちで水くみができるように、ペットボトルで  
 「マイレジャー」を作りました。自分で持てる量  
 の水を入れ、畑まで運びます。「やさいも おみず  
 のみたよね」「おいしいやさいができる  
 といね」と日々、其期待を膨らま  
 せています♡



## あおぞらホーム便り

保育士 酒井悠紀

6月に入りました。汗ばむ陽気に誘われ、子ども達は元気いっぱいに過ごしています。

あおぞらホームでは今、夏の球技大会に向け野球の練習が盛んに行われています。今年は小学生6名が全員参加しないとチームが作れない状況になり、子どもも職員も俄然力が入っています。小学生のみならず、中高生も負けんばかりに練習をしています。

夕方の練習に加え、夜も体育館やミニグラを利用しての練習を行い、小学生の投手も育てています。まだまだ体の小さな小学生たち、ボールを投げるのもバットを振るのも一苦労と言った様子ですが、本当に毎日頑張っています。夏の球技大会、地区大会ではどんな活躍してくれるのか楽しみで、指導にも力が入ります。

また、先日子どもと一緒に畑に野菜の苗を植えました。今年の野菜は、きゅうり、とまと、なす、とうもろこし、枝豆の5種類です。子ども達の意見を採用し、とうもろこしと枝豆を植えました。きっとホーム食の際にはこの野菜たちが主役になることでしょう。汗をかきながら頑張って植えた野菜の苗、普段はあまり土に触れていない子ども達も、手を泥だらけにして植えてくれました。大きくなって、みんなと食べるのが本当に楽しみです。

## まごころ・そよかぜホームだより

保育士 中村花歩

小学校では運動会の練習が始まっており、子ども達から毎日のように話が出ています。

「今日の練習で一番だったよ。」「リレーの練習大変だけど楽しい。」「応援練習頑張りたい。」などと運動会をとっても楽しみにしていることが伝わってきます。こちら子ども達の生き生きとした姿や、報告をしてくる子ども達の笑顔がとても素敵で毎日の練習の様子を聞くことが楽しみです。この頃暑い日が続く為、子ども達の体調管理にも気をつけ、万全の状態の本番を迎えることが出来るようにしていきたいです。



また球技大会に向けて卓球の練習が始まりました。子ども達も卓球の練習がとても楽しみにしている様子で、おやつを食べた後に急いで宿題に取り掛かる姿を見ます。小学生は今年から新たに2名練習に加わりました。初めは玉上げにも苦戦していましたが、諦めずに何度も繰り返し練習し上達しています。中高生もこれからの練習をどのような気持ちで行なっていくか話し合う姿があり、大会に向けて足並みを揃える様子が見られました。このようにやる気一杯の子ども達のために、職員もサポートしていきたいと思えます。

## 調理室だより 草団子作り

調理員 風間岳史

四月から愛育園で働くことになりました、調理員の風間岳史です。今後とも子供たちと職員の皆さんに美味しい食事を作っていきたいと思えます。

五月の初旬、小学生の子供たちと調理員の方々と一緒によもぎ団子をつくりました。先日、あおぞらホームのホーム食の際にうどんを作り、GW行事ではバーベキュー子供たちと楽しんだり、こんなにも調理員の私が食事の時間以外で子供たちと関われるとは思いませんでした。



子供たちはいろいろなものや行動に興味を持つため、正直ヒヤッとする場面もありましたが、年上の子供が年下の子供をまとめ、率先して手伝ってくれていました。このような、当たり前のことだけなかなかできない場面を見るたびに、園での生活が活きていると感じます。

よもぎ団子はきなこあんこを付けた2種類を2個ずつとお菓子とジュースと一緒に食べたのですが、とてもおいしくできていたので、おかわりをお願いに来る子供たちが多かったです。

これからも食事や様々な行事を通じ、子供たちにおいしく、楽しい思い出を与えられるように、調理員の先生方と協力していきたいと思えます。

## 課外活動 大池キャンプ場のアスレチックで遊びました。

